

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年4月28日

福岡市長 高島 宗一郎 様

提出者

住 所 福岡市博多区博多駅東2-5-1
氏 名 共立建設 株式会社 九州支店
執行役員支店長 池富 保
電話番号 092-436-3555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	共立建設 株式会社 九州支店		
事業場の所在地	福岡市博多区博多駅東2-5-1		
事業の種類	建設業・総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,690.50 t	全処理委託量	1,690.50 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	1,690.50 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

有価物量
不要物等発生量

不要物等発生量

排出量
① 1,555.28

自ら直接 再生利用した量
② 0

実績値
① 1,555.28
② + ③ 自ら直接 再生利用した量
0.00
④ 自然回収 を行った量
0.00
⑤ 自ら中間処理により減 量した量
0.00
⑥ + ⑦ 自ら理立処分又は 海洋投入処分を行った量
0.00
⑧ 全處理委託量
1,555.28
⑨ 優良認定処理業者への 處理委託量
0.00
⑩ 再生利用業者への処 理委託量
0.00
⑪ 热回収認定業者以外の 热回収を行う業者の 處理委託量
0.00

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑨ 0
⑩ 1,555.28
⑪ 0
⑫ 1,555.28
⑬ 0
⑭ 0
⑮ 0
⑯ 0
⑰ 0
⑱ 0
⑲ 0
⑳ 0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： アスファルトがら)

有価物量	
------	--

不要物等発生量	
---------	--

排出量	
-----	--

排出量	20.72
-----	-------

項目	実績値	
①排出量	20.72	
②+③自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑪全処理委託量	20.72	
⑫優良認定処理業者への処理委託量	0	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭熱回収認定業者以外の処理委託量	0	

(産業廃棄物の種類： アスファルトがら)

自ら直接再生利用した量	②	0
自ら中間処理した後再生利用した量	③	0
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④	0
自ら中間処理した後の中間処理業者への委託量	⑤	0
自ら中間処理した後の中間処理業者への委託量	⑥	0
自ら中間処理により減量した量	⑦	0
自ら中間処理した後の中間処理業者への委託量	⑧	0
自ら中間処理した後の中間処理業者への委託量	⑨	0
自ら中間処理した後の中間処理業者への委託量	⑩	20.72
自ら中間処理した後の中間処理業者への委託量	⑪	0
自ら中間処理した後の中間処理業者への委託量	⑫	0
自ら中間処理した後の中間処理業者への委託量	⑬	0
自ら中間処理した後の中間処理業者への委託量	⑭	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)

有価物量

不要物等発生量

排出量
① 2.84

自ら直接 再生利用した量
② 0

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

自ら中間処理した後 再生利用した量

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量

自ら中間処理した後 の残さ量

自ら中間処理によ り減じた量

自ら中間処理によ り減じた量

自ら中間処理した後 の残さ量

直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

有価物量	
------	--

不要物等発生量	
---------	--

排出量	
-----	--

項目	実績値
----	-----

①排出量	1.76
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑪全処理委託量	1.76
⑫優良認定処理業者への処理委託量	0
⑬燃回収認定業者への処理委託量	0
⑭燃回収を行う業者以外の処理委託量	0

自ら直接 再生利用した量	
-----------------	--

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	
-------------------------	--

自ら中間処理 した量	④	0
自ら中間処理した 後の残さ量	⑥	0
自ら中間処理によ り減量した量	⑦	0
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑧	0
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑩	1.76

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑤	0
⑪のうち再生利用 業者への処理委託量	⑫	1.76
⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬	0
⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	0
⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑮	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

有 価 物 量		不 要 物 等 発 生 量		排 出 量		自 直 接 再 生 利 用 し た 量		自 中 間 处 理 し た 後 再 生 利 用 し た 量		自 中 間 处 理 し た 後 自 売 廃 物 は 海 洋 投 入 处 分 し た 量		⑪のうち再生利用業者への処理委託量	
①	4.55	②	0	③	0	④	0	⑤	0	⑥	0	⑫	4.55
①排出量	4.55	②+③自ら再生利用を行った量	0	④自ら中間処理した量	0	⑤④のうち熱回収を行った量	0	⑥自ら中間処理により減量した量	0	⑦③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	⑧⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑥自ら熱回収を行った量	0	⑦自ら中間処理により減量した量	0	⑧自ら中間処理により減量した量	0	⑨自ら中間処理した後の残さ量	0	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	4.55	⑪⑪のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0	⑫⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	⑧③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	⑩全処理委託量	4.55	⑪⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	0	⑫⑪のうち再生利用業者への処理委託量	4.55	⑬⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑭⑪のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物 安定型)

有価物量
不要物等発生量

排出量
① 2.95

項目	実績値
①排出量	2.95
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2.95
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	2.95
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行なう業者への処理委託量	0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0

自ら中間処理した後再生利用した量
⑥ 0

自ら中間処理した後再生利用した量
⑥ 0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 2.95

自ら中間処理した後再生利用した量
⑫ 2.95

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 混合廃棄物 管理型)

有価物量		排出量		項目		実績値		自ら直接 再生利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量	
①	0	①	76.97	④	0	76.97	0	②	0	③	0
②+③	0	④+⑤	0	⑥	0	0	0	⑦	0	⑧	0
⑤	0	⑥+⑦	0	⑧	0	0	0	⑨	0	⑩	0
⑥+⑦	0	⑧+⑨	0	⑩	76.97	76.97	76.97	⑪	0	⑫	0
⑩	76.97	⑪	0	⑫	0	0	0	⑬	0	⑭	0
⑪+⑫	0	⑬+⑭	0	⑮	0	0	0	⑯	0	⑰	0
⑮	0	⑯+⑰	0	⑱	0	0	0	⑲	0	⑳	0
⑯+⑰	0	⑱+⑲	0	⑳	0	0	0	⑳	0	⑳	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

有価物量	
不要物等発生量	

排出量	
①	13.36

項目	実績値
①排出量	13.36
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全處理委託量	13.36
⑪優良認定業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	13.36
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接 再生利用した量	②
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③

自ら中間処理 した量	④
自ら中間処理によ り減量した量	⑦

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑩
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑪
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑫
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑬
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑭

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑮
自ら中間処理した後 再生利用した量	⑯

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑰
自ら中間処理した後 再生利用した量	⑱

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： その他がれき類)

項目	実績値	排出量
①排出量	2.84	① 2.84
②+③自ら再生利用を行った量	0	② 0
④自ら熱回収を行った量	0	④ 0
⑤自ら中間処理により減量した量	0	⑤ 0
⑥⑦自ら中間処理により減量した量	0	⑥ 0
⑧自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0	⑧ 0
⑨自ら中間処理した後、自ら再生利用した量	0	⑨ 0
⑩うち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑩ 0
⑪うち優良認定業者への処理委託量	0	⑪ 0
⑫再生利用率	2.84	⑫ 2.84
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	⑬ 0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	⑭ 0
⑮自ら直接再生利用した量	0	⑮ 0
⑯自ら中間処理した後、再生利用した量	0	⑯ 0
⑰うち再生利用率	0	⑰ 0
⑱自ら中間処理した後、再生利用率	0	⑱ 0
⑲うち再生利用率	0	⑲ 0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

有価物量

不要物等発生量

排出量

項目	実質値
①排出量	6.64
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6.64
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	6.64
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接 再生利用した量	② 0	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③ 0
自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧ 0	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨ 0
自ら中間処理 した量	④ 0	自ら中間処理した 後の残さ量	⑥ 0
④のうち熱回収 を行った量	⑤ 0	自ら中間処理によ り減量した量	⑦ 0
自ら中間処理した後 の残さ量	⑩ 6.64	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑪ 0
⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行いう業者 への処理委託量	⑫ 0	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬ 0
⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑭ 0	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	⑮ 0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

有価物量		不要物等発生量		排出量		項目		実績値		自ら中間処理した量		自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		自ら再生利用した量		自ら中間処理した後再生利用した量		自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用率への処理委託量		⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量		⑫のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
①	0.10	②	0	③	0	④	0	⑤	0	⑥	0	⑦	0	⑧	0	⑨	0	⑩	0.10	⑪	0	⑫	0		
①排出量	0.10	②+③自ら再生利用を行った量	0	④自ら中間処理した量	0	⑤自然回収を行った量	0	⑥自ら中間処理により減量した量	0	⑦自ら中間処理を行った量	0	⑧全處理委託量	0.10	⑨優良認定業者への処理委託量	0	⑩再生利用業者への処理委託量	0.10	⑪熱回収認定業者への処理委託量	0	⑫熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0				
①排出量	0.10	②+③自ら再生利用を行った量	0	④自ら中間処理した量	0	⑤自然回収を行った量	0	⑥自ら中間処理により減量した量	0	⑦自ら中間処理を行った量	0	⑧全處理委託量	0.10	⑨優良認定業者への処理委託量	0	⑩再生利用業者への処理委託量	0.10	⑪熱回収認定業者への処理委託量	0	⑫熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0				
①排出量	0.10	②+③自ら再生利用を行った量	0	④自ら中間処理した量	0	⑤自然回収を行った量	0	⑥自ら中間処理により減量した量	0	⑦自ら中間処理を行った量	0	⑧全處理委託量	0.10	⑨優良認定業者への処理委託量	0	⑩再生利用業者への処理委託量	0.10	⑪熱回収認定業者への処理委託量	0	⑫熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0				

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)

不要物等発生量	有価物量
---------	------

自ら直接 再生利用した量	自ら直接理立処分又は 海洋投入処分した量
② 0	③ 0

排出量	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理によ り減量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行なう業者 への処理委託量	⑫のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
① 2.52	2.52	④ 0	⑥ 0	⑦ 0	⑪ 2.52	⑬ 0	⑭ 0
②+③自ら再生利用を行った量	0	⑤自ら熱回収を行った量	0	⑧ 0	⑩ 2.52	⑫ 0	⑯ 0
④+⑤自ら中間処理により減量した量	0	⑨自ら中間処理を行った量	0	⑪ 0	⑮ 0	⑰ 0	⑱ 0
⑩自ら理立処分又は 海洋投入処分を行った量	0	⑪のうち優良認定 業者への処理委託量	0	⑫のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑯のうち優良認定 業者への処理委託量	⑰のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑱のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑪全處理委託量	2.52	⑫再生利用業者への処理 委託量	0	⑬のうち優良認定 業者への処理委託量	⑭のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑮のうち優良認定 業者への処理委託量	⑯のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑫優良認定処理業者への 処理委託量	0	⑬のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0	⑭のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0	⑮のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0
⑭のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0	⑮のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0	⑯のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0	⑰のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
 - (15) ⑮欄 不要物等発生量のうち、有価物として売却した量及び無償で引き渡した量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号のハ(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年4月28日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡市博多区博多駅東2-5-1
氏 名 共立建設 株式会社 九州支店
執行役員支店長 池富 保
電話番号 092-436-3555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	共立建設 株式会社 九州支店
事業場の所在地	福岡市博多区博多駅東2-5-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

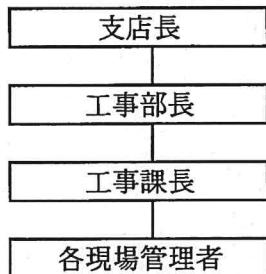
①事業の種類	建設業・総合工事業
②事業の規模	29, 7億円
③従業員数	50人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	各現場 → 収集運搬会社(委託契約) → 処分場(委託契約)

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	t
排出量	別紙の通り	t

①現状

(これまでに実施した取組)

- ・排出軽減の工法を工夫しました。

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	t
排出量	別紙の通り	t

②計画

(今後実施する予定の取組)

- ・予定はありません。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・各種類毎に徹底した、分別を行っています。

②計画 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・上記の取組みを履行します。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。 			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・予定はありません。 			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・予定はありません。 			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
・特にありません。			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			
・予定はありません。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】		
産業廃棄物の種類	別紙の通り	
全処理委託量	1,690.5 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
再生利用業者への処理委託量	1,690.5 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(これまでに実施した取組)		
・全量を再生利用業者へ委託し、最終処分利用を減少した。		

【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
②計画	全処理委託量	0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			
	・予定はありません。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙（第2面～第5面）産業廃棄物処理計画書

①現状【前年度(令和4年度)実績】

②計画【目標】

